

出雲市環境審議会 森本直知会長、出雲市経済環境部環境施設課三上課長、藤森様から、出雲市が進める次期可燃ゴミ処理施設について、実際に現地に出かけ立地環境などを肌で感じながらお話を聞かせていただきました。

令和4年4月からの稼働を目指して、工事は着々と進められています。毎日排出されるゴミの量と処理の仕方、処理施設の建設費や運営費、誰がその経費をだすのか、ゴミ問題の現実と出雲市が目指すまち作り。

どう融合させていくのか、出雲での豊かな暮らしとはどのような姿か、考える時間となりました。



出雲市が誇る自然、伝統、文化を基調として循環型社会の実現を目指す。

歴史と風土に機能性をもたせ、市民から信頼され親しまれる施設としています。

- ・私は出雲市のゴミ事情について考えることができました。それは、ゴミ処理にかかる費用と私たちが出すゴミの量のことです。これからは、3Rを意識して分別もし、ゴミの量を減らす努力をしていきたいと思いました。 M、S S、K
- ・今回ゴミの現状を知ることができました。3Rを徹底することで環境保全につながるようになりました。



○5つのコンセプトとは・・・①安全・安定・安心で、40年稼働施設 ②燃焼技術と高い公害防止基準
③経済的、効率的施設 ④発電システムでエネルギー循環 ⑤災害に強い構造
それに加え、地域の人々と交流、環境学習、ふれあいの支援をする施設

- ・出雲の気候や環境について考えることができました。中でも目標を決めることを意識したいと思いました。実際に工事現場を見て、暮らしを見直していきたいと思いました。H,A
- ・生ゴミは水分をしっかりと抜いてから燃えるゴミにしないといけないと知りました。杭を地下深く打って、建物を支えるんだと強く印象に残った。K、T
- ・オシャレなゴミ処理施設だと思いました。家では何でもゴミ箱でしたが、母が後で分別していた意味がわかりました。来年から一人暮らしするので、しっかりとしていきたいと思いました。W、K
- ・生ゴミは水を切らないと、油を使って燃やすことになる。CO₂が多く出る。これからは、分別方法を意識したいです。M,U
- ・一人、年間190kg=米袋6袋以上。ゴミの量が思ったより多くてビックリしました。これからはリサイクルなどにして量を減らしたいです。M,U
- ・ゴミの整理や分別の大切さを知りました。3Rの中でも、reduceが優先すること心がけたいです。建設現場は、まだまだでしたが貴重な体験にすることができました。Y,K
- ・産業廃棄物と一般廃棄物。ゴミを減らすことで機械が長持ちする。自分たちがルールを守ることが大切だと思いました。T,I
- ・ゴミ処理をめぐって、人々の心理が働くことを知りました。生ゴミの水が多いと、石油使用で環境問題となっている。H,A
- ・今まで、何となく出していたゴミでしたが、お話を聞いてゴミの出し方への認識が変わるなど思いました。R,T
- ・新しいエネルギーセンターができるの楽しみです。出雲市のゴミはだんだん減ってきていると聞くのでその調子で行って欲しいです。R,A
- ・新しくできるゴミ処理場に行き、たくさんのお話を聞けました。細かく分別していい環境にしたいと思いました。M,S
- ・新しい処理施設の外観は、出雲の風景を考慮して作られているなど思いました。S,I
- ・循環型社会を作るための3R。A,M
- ・ゴミ処理のこと、初めて知ることだらけでした。自分が気をつけることで地球にも優しいんだと思うと頑張れるような気がします。M,I
- ・ゴミの分別をよくわかっていない人が多いイメージです。私たちが、小中学校で飲んでいた牛乳パックがトイレトーパーに再利用されていると考えるととても地球に優しい気がします。貴重な機会をありがとうございました。H,F

